

< 報道関係各位 >

2009 年 1 月 27 日

株式会社手嶋屋

OpenPNE はプラットフォームになる！

多彩な A P I を搭載した OpenPNE3.0 をリリース

株式会社手嶋屋（東京都新宿区）は、OpenPNE3.0 を 1 月 27 日にリリースいたします。

OpenPNE とは、手嶋屋が中心となって、オープンソース方式で開発がすすめられている SNS エンジンです。誰でも自由に無料で利用できることから、企業やサークルなど現在、約 3 万の組織に導入され、コミュニケーションの活性化に貢献してまいりました。

OpenPNE3.0 におけるキーコンセプトは、「OpenPNE のプラットフォーム化」。すべての組織に合わせ自在に変化する SNS を提供するため、大きな改革を行いました。

その主な取り組みは、OpenSocial API、OpenPNE Plugin API、OpenPNE Web API など多彩な A P I の採用。これにより、OpenPNE が土台となり、人間関係と組織表現をするための多くのアプリケーションが作成・利用しやすくなります。

また、国内のみならず世界中の組織が使用できるよう、OpenPNE3.0 より、国際化を実現。世界中の言語に対応できるようになります。そのほかにも、I D 連携機能の充実や複数の認証方式への対応など、さまざまな機能が追加され、より使いやすくなります。

OpenPNE は、ソーシャルコンピューティング時代をひらく最良のコミュニケーションソフトとして今後も進化を続けます。

リリースにあわせまして、本日、株式会社手嶋屋（東京都新宿区）において発表イベントを開催いたします。

基本情報は以下の通りです。

OpenPNE 3.0 の特徴

1) 国際化を実現

OpenPNE3.0 より、外国語への対応が可能になります。それにより、辞書ファイルを追加することで、多くの言語に対応し、世界中の人々に利用していただけるようになります。OpenPNE プロジェクトとしては、まず、英語・中国語ファイルを作成します。

2) プラットフォーム化を目指し、多彩なAPIを搭載

OpenPNE3.0 では、あらゆるSNSが必要とするメンバー情報管理などの Social Application Layer (OpenPNE 3.0 構成図参照) と、各SNSがそれぞれ必要とする Social Graph Layer に分離しました。そのコネクタとしての役割を果たすのが、今回、採用した「OpenSocial API」、「OpenPNE Plugin API」、「OpenPNE Web API」の3つのAPI (1) です。これにより、アプリケーションは自由に着脱することができるようになり、多くのプログラマにとって開発がしやすくなりました。また、SNS運営者も、運営するSNSの目的に合わせて、OpenPNE 本体に好みのアプリケーションを選んで追加することができるようになります。

・ OpenSocial API に対応 ~外部サービスを OpenPNE に取り込むことが可能に~

OpenPNE 3.0 より、OpenSocial API への対応が可能になりました。OpenSocial API とは、Google が提供しているソーシャルアプリケーション(2)開発の為に共通APIのことで、全世界3億ものSNSユーザーに利用されています。

・ OpenPNE Plugin API を提供 ~アプリケーションの取り外しと個別開発が可能に~

OpenPNE3.0 では、ソーシャルアプリケーションを作るための OpenPNE Plugin API が利用できます。このAPIを経由して OpenPNE3.0 のコア機能にアクセスできるため、各組織のニーズにあわせたアプリケーションを、OpenPNE に非常に密接に結びつけた形で開発することが可能になります。

・ OpenPNE Web API を提供 ~外部から OpenPNE を操作可能に~

OpenPNE3.0 では、外部からでも、OpenPNE の操作が可能になります。OpenPNE Web API を使うことで、PC や携帯のブラウザ以外から、OpenPNE を操作することができます。たとえば、iPhone のカメラから OpenPNE に、アルバムを投稿するアプリを作る場合などに利用できます。

3) 外部サービスとのID連携が可能に OpenID 対応

OpenPNE3.0では、発行されたOpenID(3)を利用できるようになります。これにより、Yahoo!、mixiなどが発行するOpenIDを使い、面倒なアカウント登録作業を行わずにOpenPNEにログインできます。また、OpenIDを発行することも可能になり(2 .1 2より継続)、WordPressなどの対応サービスに対し、OpenPNEのOpenIDを使ってログインすることができます。

4) そのほかの技術革新

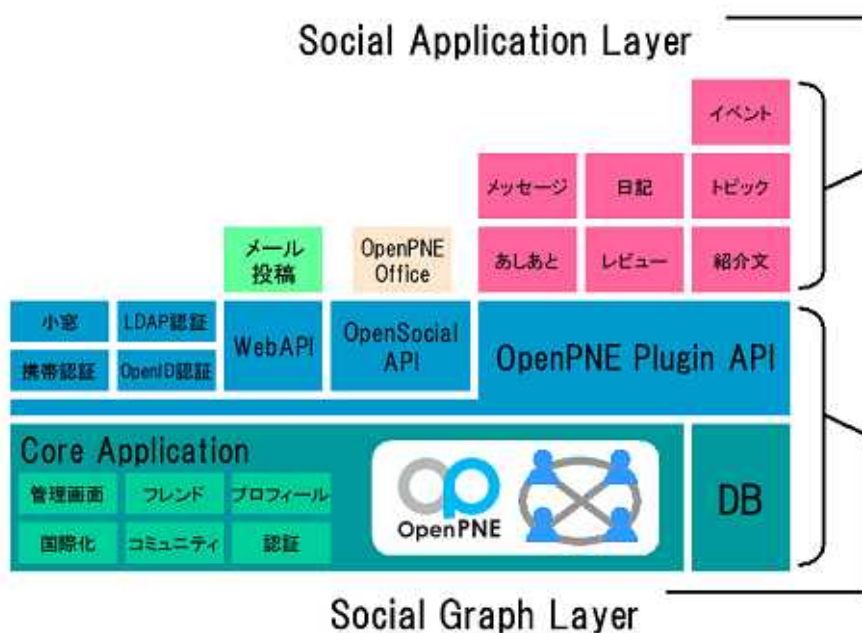
コードの保守性や拡張性を向上させるため、OpenPNE3.0より、フレームワークにsymfony(4)を採用しました。また、複数の認証方式への対応やAJAX(5)の採用など、さまざまな機能を追加・充実いたしました。

5) OpenPNE3.0上で動くアプリケーション

「OpenPNEのプラットフォーム化」により、さまざまな機能の着脱が可能になりました。これにより、多くの企業や個人がアプリケーションを制作しやすくなりました。株式会社手嶋屋では、昨年、6月にリリースした社内SNS「OpenPNE Office」(6)のOpenPNE3.0への対応を予定しております。また、レビュー、あしあと、メッセージなどの基本アプリケーションは、株式会社アイシーズさまや多くの個人プログラマのみなさまにご協力いただきました。

- 1) **API (Application Program Interface)** アプリケーションをプログラムするにあたって、もっと簡潔にプログラムできるように設定されたインターフェース
- 2) **ソーシャルアプリケーション** 追加機能を実現する個々のアプリケーション
- 3) **OpenID** 一つのIDにより、インターネット上のさまざまなWebサイトの認証を可能にするURL形式のIDのこと
- 4) **symfony** オープンソースで開発され、世界中で利用されているPHPフレームワーク
- 5) **AJAX** ウェブブラウザ内で非同期通信とインターフェイスの構築などを行う技術
- 6) **OpenPNE Office** 手嶋屋が開発したスケジュール機能やモバイル機能など、オフィスに必要な機能を備えたグループウェア(「OpenPNE Office」は、独立行政法人 情報処理推進機構の支援を受けています)

OpenPNE 3.0 構成図



OpenPNE3.0 基本情報

- ・名称 OpenPNE3.0 (オープンピーネサンテンゼロ)
- ・リリース予定日 2009年1月27日
- ・ライセンス Apache2.0 License

プレスリリースに関するお問い合わせ先

今回のリリースについてのお問合せは、下記までお願いいたします。

株式会社手嶋屋 広報チーム 白石(しらいし)

TEL : (03) 6380-4575 FAX : (03) 6380-4576

E-Mail shiraishi@tejimaya.com (白石)

OpenPNE <http://www.openpne.jp/>

手嶋屋 <http://www.tejimaya.com/>

本プレスリリース記載の情報はリリース日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。最新情報は、随時、OpenPNE オフィシャルサイト (<http://www.openpne.jp/>) にて公開いたします。